



〒176-8508 東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
TEL: 03-5999-1511 (代表) FAX: 03-5999-1501
<http://www.taiyo-hd.co.jp>



CSRレポート 2014

社会を照らす、未来を照らす



CONTENTS

- 03 トップコミットメント
- 04 経営理念・CSR理念・行動規範
- 05 特集：サプライチェーンを通じた品質活動

マネジメント

- 07 2013年度CSR活動の実績と今後の目標
- 08 コーポレートガバナンス
- 08 コンプライアンスに関する取り組み
- 09 リスクマネジメントに関する取り組み

社会性報告

- 10 株主の皆様との関わり
- 11 お客様との関わり
- 11 お取引先との関わり
- 12 社員との関わり
- 13 地域・社会との関わり

環境報告

- 15 環境方針と環境マネジメントシステム
- 16 事業活動と環境との関わり
- 17 環境負荷低減の取り組み
- 19 法規制測定データ集

21 会社概要と沿革

編集方針

本レポートでは、太陽ホールディングスグループ(以下、太陽HDグループ)のサプライチェーンを通じた品質活動を特集としてご紹介し、続けて「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱にしています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設け補足しています。

対象期間・対象範囲

本レポートの活動対象期間は、2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、太陽HD)本社ならびに19、20ページに記載の太陽インキ製造(以下、太陽インキ)、太陽HD嵐山事業所のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。活動対象期間が異なる場合は、該当箇所別途記載しています。

発行年月

2014年6月(次回予定:2015年6月)

For Tomorrow

明日の地球にできること

太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。当社グループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、家庭やオフィス、その他生活の身近にあるあらゆる電子機器に使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。これからもステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、各拠点ごとに人材育成に力を注ぎ、事業を通じて社会の持続的な発展に貢献していきます。



1 太陽ホールディングス株式会社

持株会社として、太陽HDグループ全体の経営方針策定、経営資源の適正な配分、経営管理を主な事業内容としています。特に人材育成・登用では海外人材の採用を推進し、昨年度は5名の外国籍の方を採用しました。また、社員に対しては語学研修など各種研修を実施しています。



2 太陽インキ製造株式会社

太陽HDグループの技術開発の拠点として常に新しい製品を生み出し、世界各国に“Made in Japan”の製品を提供しています。さらに世界に誇る品質保証体制、環境負荷低減を心掛けるとともに、研修会やeラーニングなどで人材育成を積極的に展開しています。



3 台湾太陽油墨股份有限公司

台湾市場のみならず、中国やアセアンのお客様への製品供給の拠点として、製品開発・製造・販売に取り組んでいます。また、プリント配線板用部材以外の製品として、タッチパネル用加飾インキの研究開発・製造・販売を手掛けています。今後も、より質の高い製品・サービスの提供に努めます。



4 韓国タイヨウインキ株式会社

韓国市場を中心にプリント配線板用部材の開発・製造、輸入・販売および技術サービスを行っています。法規および環境規制強化に合わせて環境対応・低価格・高生産性のインクジェットプリンター用UVインキなどを開発しています。



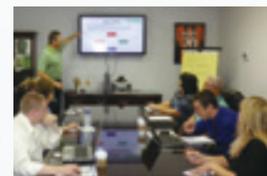
5 太陽油墨(蘇州)有限公司

現地技術スタッフのスキルアップ・自律型人材育成の一環として、蘇州大学より講師を招いての有機化学講習を行っています。また、これから成長が見込まれる中国市場のお客様のご要望にお応えするため、高付加価値製品開発・新規事業開発に向けて、同大学との共同研究を計画しています。



6 TAIYO AMERICA, INC.

米国ネバダ州の工場が開発・生産した製品を北南米・欧州の23ヶ国の市場に販売しています。各国への販売は、それぞれ異なる法規制や商習慣への対応が求められ、特に規制が厳しい化学物質に関する法規については、定期的な情報収集や社内教育による最新情報の共有が不可欠です。



7 永勝泰科技股份有限公司

新たな市場として、韓国市場の開拓を継続的に行っており、2年に1回のKPCA show(韓国の電子回路産業展)に販売代理店とともに出展しています。また、人材育成の一環として日本語学習を行っており、日常会話に取り入れています。



8 TAIYO INK INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE LTD

太陽HDグループ内各国の生産拠点で生産されたプリント配線板用部材をアセアン各国・インド市場に向けて、販売する拠点として活動しています。また、これらの市場への技術サービスも行っています。お客様のご要望にお応えする商品・サービスを迅速かつ的確に供給し対応することで、地域の発展に貢献します。



9 TAIYO INK INTERNATIONAL (HK) LTD.

ベトナム・ハノイエリアのお客様の技術サービスや情報収集、マーケティングなどを担う新たな拠点として、昨年11月に香港太陽ハノイ駐在員事務所を設立しました。スタッフには業務知識のみならず日本語や日本の文化・習慣などを教育し、1日も早く太陽HDグループのマインドをベトナムにも根付かせるよう努めています。



10 太陽油墨貿易(深圳)有限公司

販売・技術サービス拠点として、各営業員のレベルアップを目指し、月1回勉強会を行っています。プリント配線板メーカーに勤務経験のある営業員も多数おり、様々な事案に対処できる経験豊富な人材も多いのですが、さらなる技術の知識習得とサービス向上のために今後も勉強会を継続的に実施します。



11 TAIYO INK (THAILAND) CO., LTD.

アセアン市場最大であるタイのお客様への技術サービス拠点として活動しています。品質面のサービスサポートだけでなく、お客様の生産の最適化につながる提案も積極的に行っています。また、スタッフの語学研修を実施し、人材育成に努めています。



「100年企業」を目指し、今後も新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

100年企業へ向けたさらなる成長

太陽HDは昨年9月に会社設立60周年を迎えることができました。この長きにわたり、私たち太陽HDグループが成長を続けることができたのも、多くの皆様のご支援、ご高配の賜物と存じ、心から厚く御礼申し上げます。

私たちは、次なる目標として「100年企業」を目指し、さらなる成長を果たしてまいります。そのためにも、当社グループでは引き続き「自律型人材の育成」と「新規事業の創出」を重要な成長戦略と位置付けていきます。

当社グループが永続的に成長していくためには、自ら目標を設定してその実現を楽しむような「自律型人材」を数多く育成することが肝要であると考えています。グループ会社間の人事ローテーションを活発にし、様々な国での様々な業務において困難と成功を体験させるとともに、国籍や年齢を問わず優秀な人材をリーダーに登用することにより、自律型人材を育成してまいります。

新規事業の創出

当社グループでは、各部門から選抜した専属チームを立ち上げ、一定の責任と権限を与えることにより、新製品の事業化に専念できる環境を構築しています。現在、層間絶縁材、感光性カバレイなど多数の製品の事業化を進めており、徐々にではありますが成果をあげています。

パッケージ基板に使用される絶縁材料のうち、当社グループではドライフィルムタイプの層間絶縁材の事業化を進めています。パッケージ基板の製造に新規参入されるお客様や、新しい工法で基板を製造しようとしているお客様の声を聞きながら、そのニーズに合致した製品を開発しており、今後はドライフィルムタイプだけに留まらず、新しい要求に沿った製品も開発していく計画です。

また、電子機器の軽薄短小化に伴い、柔軟で折りたたみ収納ができるような基板が増えており、当社グループではこの市場ニーズに応えるため、微細加工性と耐熱性・折り曲げ性を両立させた感光性カバレイを開発しました。現在、実用化と用途拡大に向けて改良を進めています。

これらの他にも、タッチパネル用銀ペーストや、導電性接着剤などの新材料も事業化に向けた開発を進めています。

スピード & コミュニケーション

自律型人材の育成と新規事業の創出に加え、「スピード&コミュニケーション」を当社グループのキーワードと考えています。私が社長に就任した当初より、このキーワードを多くの社員と共有してまいりましたが、近頃では社員に浸透し成果につながっていると実感しています。グループ各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めていくとともに、引き続き、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えています。

また、「雇用を生み続ける」これこそが企業の責任であると、私は考えています。新たな事業を創出し、雇用を生み続けることが、当社グループのCSRの本質といえます。国内外の拠点において、現地雇用を含めた地域貢献策を今後も推進していきます。

太陽HDグループでは、「100年企業」を目指し、今後も新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2014年 6月



代表取締役社長

佐藤 英志

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

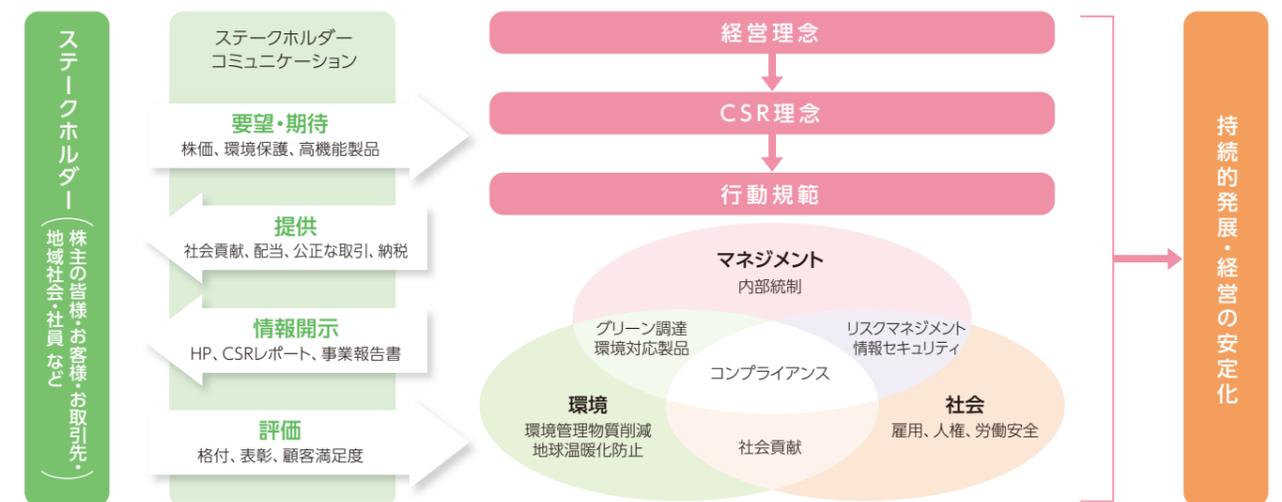
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 倫理・法令遵守 | 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公平かつ公平に行動します。 |
| 2. 職場の環境 | 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。 |
| 3. 公正な取引の実施 | 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。 |
| 4. ステークホルダーの尊重 | 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。 |
| 5. 秘密の保持 | 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報に漏洩しないよう管理を行います。 |
| 6. 品質の確保(品質方針) | 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。 |
| 7. 環境の保全(環境基本理念) | 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。 |
| 8. 社会貢献活動 | 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。 |
| 9. 知的財産権の尊重 | 私たちは、創作または保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。 |
| 10. 反社会的勢力の排除 | 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。 |



サプライチェーンを通じた品質活動

太陽HDグループのモノづくりの原点は、お客様にご満足いただくことにあります。お客様にご安心いただける安全な製品・サービスを確実に提供し、お客様から信頼していただける品質を実現するために、サプライチェーンの各段階で様々な取り組みを進めています。



ソルダーレジストについて
当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、プリント配線板の銅配線を必要な部分のみ露出させ、そのほかの部分ははんだが付着して回路がショートしないように保護する役割をもっています。



2013年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2013年度の主な活動実績と、2014年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺:目標達成 ☹:着手したが未達成 ☹:未着手

マネジメント					
取り組み項目	2013年度の課題・目標	2013年度の主な活動実績	評価	2014年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	●システムの有効性と効率性の向上	●新しく太陽HDグループに加わったOTCグループの内部統制システムの構築・評価 ●会計システムが変更された太陽インキの内部統制システムの見直し・評価	☺	●OTCグループに内部統制システムを定着させる(自己評価の実施) ●販売管理システムが変更される太陽インキの内部統制システムの見直し・評価	P8
コンプライアンス	●社員教育による倫理法令遵守に関する啓蒙活動の継続推進 ●ホットラインの運用見直し ●E&Cの活動状況を社内に向けて発信する ●海外グループ会社への展開を進める	●コンプライアンスに関する教育用DVDを定期的に購入し、教育のツールとして貸し出しを実施 ●相談窓口担当者に向けた教育教本を作成 ●ホットラインポスターを刷新 ●E&Cの活動状況を「E&C情報」に記載し、社内Webに掲載 ●海外グループ会社に向けて、「CSR理念」「行動規範」を周知し、倫理や法令を遵守するよう呼びかけた	☺	●リスク調査の実施と対応 ●啓蒙活動のための教育資料等の充実 ●ホットラインの運用の見直し(相談しやすい雰囲気づくりの向上を目指す) ●海外グループ会社への展開を進める	P8
リスクマネジメント	●被害想定を変えた防災訓練を実施	●通常の防災訓練にとどまる	☹	●被害想定を変えた防災訓練を実施	P9

社会性報告					
取り組み項目	2013年度の課題・目標	2013年度の主な活動実績	評価	2014年度の課題・目標	掲載ページ
ステークホルダーとの関わり	株主・投資家の皆様	●継続的な安定配当を実施する ●ホームページ、CSRレポート、アナニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う	☺	●継続的な安定配当を実施する ●ホームページ、CSRレポート、アナニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う	P10
	お客様	●粗粒対策および製品品質を高めるために「工程改善」「規格見直し」「製品開発」を推進する ●プロセス監視および意識付けにより異常品の流出防止と発生時の未然防止を推進する	☺	●「工程改善」「規格見直し」「製品開発」を実施し、粗粒対策品の製品数を増やした ●監視能力UP、意識付け教育の徹底を実施した	P11
	お取引先	●CSR調達ガイドラインを作成する	☹	●CSR調達ガイドラインを作成する	P11
	社員	●調査を実施し、まとめ後、展開案を決定して、実施準備を完了する	☺	●実施準備が完了した案件を実施し、さらなるニーズ調査を行う	P12
	地域・社会	●太陽HDを含めた社会貢献ガイドラインを作成し運用を開始する	☹	●太陽HDを含めた社会貢献ガイドラインを作成し運用を開始する	P13~14

環境報告					
取り組み項目	2013年度の課題・目標	2013年度の主な活動実績	評価	2014年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	●前年度の電力使用量の実績に基づき、その維持を図る	●クールビズ、ウォームビズを継続 ●電力デマンド監視機器による電力使用量のチェック・コントロールを継続 ●照明のLED化を推進	☹	●電力使用量の削減活動を継続して実施する	P15~20

コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

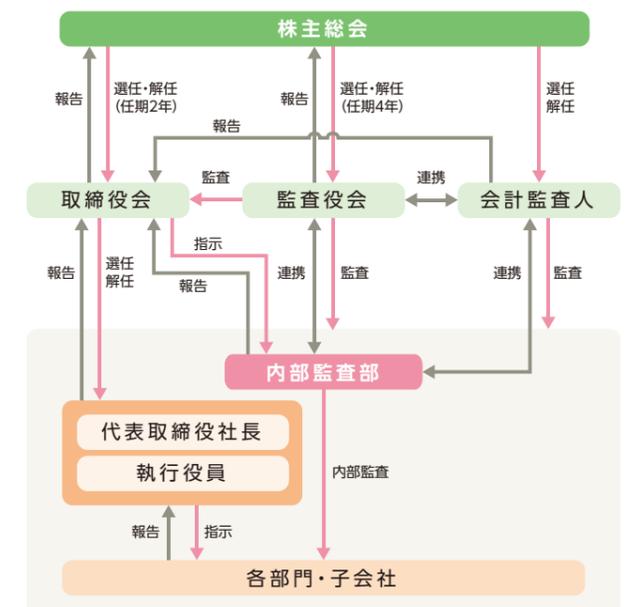
コーポレートガバナンス体制

社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要であると考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる業務執行とその監督の体制を整え、太陽HDグループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

内部統制システム

2013年度は、新しく太陽HDグループに加わった台湾の永勝泰科技とその子会社である永勝泰油墨(深圳)の内部統制システムの構築および、太陽インキのシステム入れ替えに伴う業務プロセスの見直しなどを新たに行いました。

■コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

太陽HDは、コンプライアンス推進組織を構成し、倫理・法令遵守システムの運用を通じて全社員に向けて啓発活動を実施しています。

2013年度は、海外を含めた太陽HDグループ会社すべてに向けて、当社の「CSR理念」「行動規範」を周知し、その精神に沿った活動を実施するよう指導しました。

また、社員には伝わりにくかったコンプライアンス推進組織の活動内容を、「E&C情報」として社内Webに掲載することで、多くの社員の目に触れ、活動内容が浸透しました。

コンプライアンス教育

社員のコンプライアンス意識向上のため、コンプライアンスに関するDVDを定期的に購入し、各部署で倫理・法令遵守教育に使用しています。

また、2013年度は、相談窓口担当者向けに教育教本を

作成し、潜在している相談案件をいかにして聞き出すかといった実践的な教育を行いました。

潜在している会社のリスクを洗い出すために、社員への呼びかけのポスターも一新し、相談窓口体制が整っていることを改めてアピールした年になりました。



啓発ポスター



相談窓口担当者向け教本

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

知的財産の保護

太陽HDグループが創作し、または保有する知的財産権を適切に保護するとともに、第三者の知的財産権も尊重するため、主に以下のような取り組みを行っています。

(1) 知財戦略会議の開催

研究・開発部門と知的財産部門とが、知財戦略について審議し、また、社内外の知財に関連する情報をタイムリーに報告する場として、毎月開催しています。

(2) 自社知的財産の保護

(a) 特許権による保護

ソルダーレジスト等のプリント配線板関連材料や、ディスプレイ関連材料等の主力製品に関して創作した発明等は、主要国に出願して権利化を図り、特に有力技術に関する発明等については、各国の早期審査制度や審査ハイウェイを積極的に利用して早期権利化を行い、権利の戦略的活用を図っています。

(b) 商標権による保護

当社グループのブランドを適切に保護するため、主要国で権利化を図り、特に中国での模倣品については、調査を実施し、必要に応じ適切な対応をとっています。また、国内外での当社グループにおける商標の登録および使用についてのガイドラインの策定を進めています。



各国商標登録証(左から、日本、米国、中国)

(c) ノウハウによる保護

特許権による保護だけでなく当社技術を保護することの危険性を考慮し、公証役場等を活用したノウハウの封印による保護も進めています。

(3) 第三者の知的財産権の尊重

現行製品について、各国で定期的な特許・商標調査を実施し、第三者の知的財産権を侵害しないように、チェックを行っています。

また、知的財産関連の教育として、特許・商標等の産業財産権、営業秘密管理、契約管理等について、定期的に社内教育を実施し、自社の知的財産権の保護のみならず、第三者の知的財産権の尊重等、知財マインド、リーガルマインドの向上を図っています。

緊急時対応

(1) 緊急時の電源確保

大規模災害時には長時間にわたり停電になることが予想されます。そのような場合に備え、電気自動車のバッテリーをバックアップ用電源として使用する設備を新たに導入しました。

緊急時の通信機器や、他拠点と共有しているサーバーなどの電源を確保するために活用していく予定です。



電源システム

(2) 防災訓練の実施

生産拠点である太陽インキでは、毎年防災訓練を実施しています。早急な人的安全の確保はもとより、原材料や製品の漏洩による大気、土壌、地下水および排水への汚染を想定した緊急対応訓練も計画し、実施しています。

また嵐山事業所では、自衛消防隊を組織し、埼玉県比企地区の自衛消防総合訓練大会への継続的な参加などを通じて、防災管理の充実強化・質の向上に努めています。

昨年度を振り返りますと、2月の記録的な大雪の中でも工場を安定的に稼働させるといった、リスクマネジメント体制の新しい課題が見えた年でした。このような教訓を踏まえ今後も多様な条件を設定し、危機意識をもって防災訓練を続けていきます。



防災避難訓練の様子

株主の皆様との関わり

利益の配分ならびに適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様への「幸福と繁栄」に寄与します。

利益配分に関する基本方針

太陽HDでは、現金による株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付け、中長期的な業績向上に必要な投資とのバランスを勘案しながら、継続的かつ安定的に高水準の配当を実施することを目指しています。具体的な配当目標指標は、「連結決算を基準に純資産配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

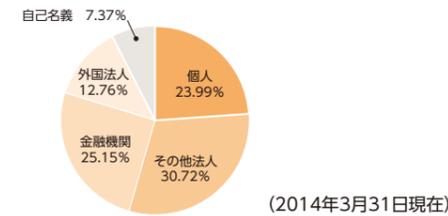
2013年度については、中間配当の75円(普通配当45円、記念配当30円)に期末配当の45円を加え1株当たり合計120円の配当を決定しました。

■株式の状況

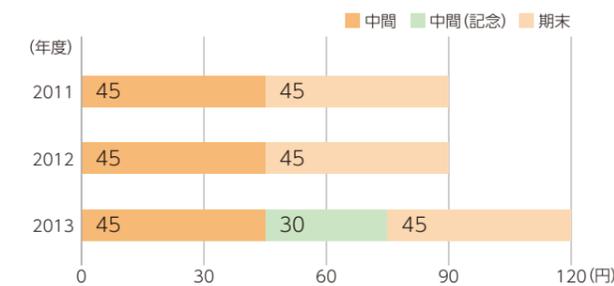
発行済株式数	株主数
27,464,000株	7,000人

(2014年3月31日現在)

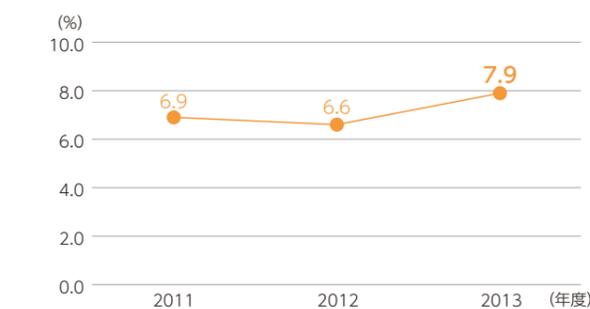
■株式分布状況



■1株あたりの配当の推移



■純資産配当率の推移(連結)



IR活動

投資判断に有効な情報を株主・投資家の皆様にお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動の実施を基本方針としています。

具体的なIR活動としては、自社ホームページでのIR情報提供、アニュアルレポートの発行、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会、機関投資家との個別ミーティングなどを実施しています。特に決算説明会は決算発表と同日に行い、情報開示の迅速化に努めています。

開かれた株主総会

2013年6月26日、第67回定時株主総会を開催し、多くの株主の皆様にご出席いただきました。株主総会では前回までの映像とナレーションに替えて、事業報告や連結計算書類および計算書類の内容を議長が直接ご説明いたしました。また大型スクリーンを活用するなど、視覚的にわかりやすいよう努めています。

なお株主総会の模様は、ホームページにてオンデマンドによる配信を行い、当日ご出席いただけなかった株主の皆様をはじめ、報道関係の方にも広く公開しています。また例年株主総会終了後には、懇談会を開催しています。懇談会では、当社グループの製品が使用されたプリント配線板や電気製品をご覧いただきながら、役員や開発担当者との直接対話ができる場を設け、株主の皆様とのコミュニケーションの充実を図っています。

TOPICS ホームページのご紹介

当社は株主・投資家の皆様に対し、企業情報や財務情報などの情報開示を積極的に行っています。展示会に出展した製品の紹介や、用語の解説などもございますので、当社をご理解いただくための一助としてご覧いただければ幸いです。また、メールマガジンの配信サービスもありますので、発表した情報について連絡を希望される方は是非ご登録をお願いいたします。



taiyo-hd.co.jp

お客様との関わり

太陽インキではISO 9001:2008に基づいた品質マネジメントシステムを適用して、品質保証、品質管理、品質改善の活動を行い、お客様にご満足いただける品質と安全性を確保し提供しています。

マネジメントシステムの改善

2013年度は、各プロセスの目的、役割およびプロセス間のつながりをより明確にし、わかりやすいシステムの構築を目指しました。2014年度は、品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムのうち、統合できることについては統合し、一層の合理化を目指します。

生産工程情報の活用

製品の品質を「お客様の満足」ととらえ、品質の安定化に努めています。

製品のインプットからアウトプットまでのチェック項目

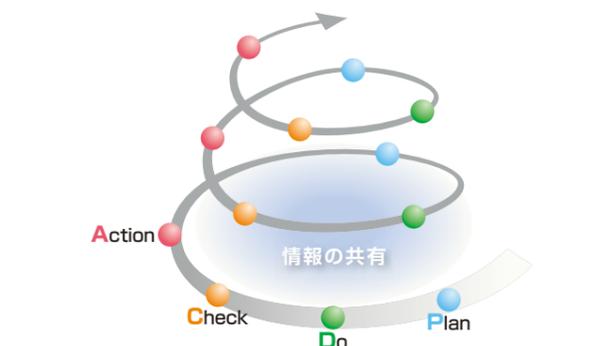
- ①受入検査(安定した生産の確保)**
原料受入検査の規格項目に加え、特定の原料はより精度の高い試験を行うとともに、2014年度は傾向管理*に力を入れ、製造条件の安定化に努めています。
- ②工程内チェック項目の安定化(製品検査に頼らないものづくり)**
製品のでき栄えを製品検査に頼らず、工程内で品質の作り込みを行っています。
- ③製品検査(安定した製品の提供)**
2014年度は、規格の適合性検査だけでなく、傾向管理*に力を入れ、より安定した製品をお客様に提供できるよう努めています。

お客様からの声の活用

お客様からの苦情をはじめとする様々な声は、品質向上の絶好の機会ととらえています。

お寄せいただいたお客様の声は取りこぼすことなく原因を究明し対策を講じることで、今まで以上に質の高い製品を提供できるよう日々改善に努めています。

■お客様との情報共有に基づく品質改善



用語解説 ※傾向管理：規格の合否判定だけでなく、実測値がどのように推移しているか確認し、不合格になる前に対策を講じ、安定した品質を維持する活動

お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化のためにお取引先にご協力をいただき、今年も立ち入り監査を実施しました。

監査は購買課、品質管理課、生産技術課および関係者により構成されたメンバーで行っており、主に原材料の品質・環境への配慮・納期などの維持、向上を目的とし、原材料、外注製品の購入先に実施しています。

監査の実施結果

2013年度は、お取引先6社の監査を実施しました。

- ① 品質不具合のフォローアップ 1社
- ② 新規原料安定供給確認 2社
- ③ 生産工場の変更 2社
- ④ 生産工程の確認、見学 1社

お取引先のご理解とご協力により、スムーズに監査を実施し、原材料の品質が維持され、安定供給の体制が整っていることを確認することができました。お取引先と直接お話しできたことは、お互いの理解と協力関係にプラスになりました。

下請法の遵守

公正取引委員会からの「下請事業者との取引に関する調査」について、積極的に協力しました。

下請法対象の8社に対して取引を行う際に、以下の事項を十分考慮して対応しております。

- ① 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- ② 金融繁忙期の資金繰りへの配慮
- ③ 下請事業者の利益の確保
- ④ 原材料価格等の上昇への配慮
- ⑤ 消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを活かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

太陽HDグループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

また、国籍や性別、年齢などに関係なく活躍できる職場を提供するとともにワーク・ライフ・バランスを推進するために、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

■社員概況(2014年3月31日現在)

	男性	女性	合計
正社員総数*1	272人	42人	314人
正社員以外の雇用数	2人	1人	3人
社員平均年齢*2	44.07歳	39.00歳	43.38歳
社員平均勤続年数*2	17.28年	14.67年	16.93年
障がい者雇用人数*2	1人	0人	1人
障がい者法定雇用率*2*3	-	-	0.64%
再雇用人数	7人	0人	7人

対象：太陽HD、太陽インキ
 ※1 海外出向者を含む
 ※2 出向受け入れ、派遣社員は除く
 ※3 障害者雇用率制度による

「次世代の育成」に寄与する支援制度

入所待機児童の増加が社会問題となっているなか、太陽HDおよび太陽インキは、仕事と家庭生活の両立を支援するため育児休業・短時間勤務の制度化をはじめ、各種制度を取り入れています。

■主な支援制度

	制度名	利用者数		
		2011年度	2012年度	2013年度
育児支援	育児休業制度(満1歳に達した翌年度末まで)	3	5	3
	育児短時間勤務制度(小学校3年生修了まで)	9	8	10
介護支援	介護休暇・介護短時間勤務制度(延べ日数93日)	0	1	1
看護支援	看護休暇制度	51	56	60
永年勤続	リフレッシュ休暇制度(勤続5年ごとにリフレッシュ休暇と資金の支給)	64	63	63

対象：太陽HD、太陽インキ

育児短時間勤務制度は法令で定められている期間を超え、3歳以上～小学校3年生の小さな子どもがいる社員に対して、希望により1日の勤務時間を6時間30分まで短縮できるよう定めています。

今後もワーク・ライフ・バランスを推進し、社員が働きやすい環境づくりを進めていきます。

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入しています。2013年度に報告された資格取得は、23件に上りました。

また、外国籍社員の増加に伴い、日本語能力試験を支援対象とするなどの見直しを行いました。この制度の利用によって、多くの社員がスキルアップできるよう、今後も支援を続けていきます。

定年退職者の再雇用推進

太陽HDおよび太陽インキでは、満60歳の定年を迎えた社員が、その豊富な経験や技術・技能を活かして働き続けられるよう、再雇用を行っています。

昨年4月改正の高年齢者雇用安定法に基づき、老齢厚生年金受給時期までは希望者全員を再雇用の対象とし、最長65歳までの継続勤務ができる制度になっています。

2013年度は、新たに5名を再雇用しました。

VOICE

働くパパ・ママには嬉しい「育児短時間勤務制度」

私は一昨年に出産し、育児休業を経た上で復職しました。現在は「育児短時間勤務制度」を利用しています。待機児童数が増えて、保育園に子どもを預けるのも難しい昨今、私も年度途中で入園させることはできませんでした。しかし、取得していた育児休業を新年度入園後まで延長することで、安心して仕事と育児を両立のうえ復職することができました。

社内では男性も育児短時間勤務制度を取得しており、働くパパ・ママが多いことがとても励みになっています。



知財法務部
福里

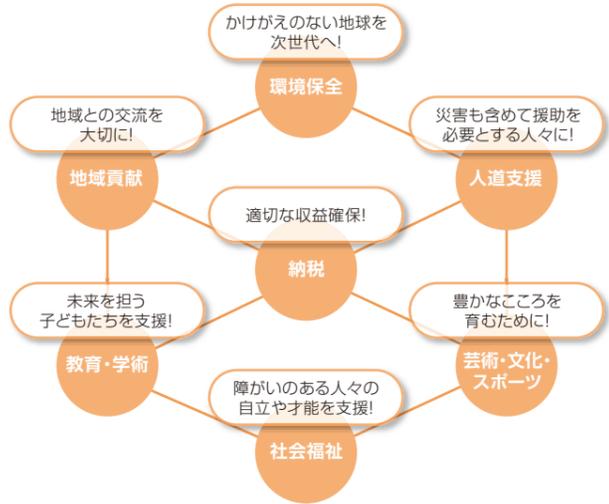
地域・社会との関わり

地域社会と地球環境との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、共に成長する企業であり続けるため、太陽HDグループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

■太陽HDグループが目指す社会貢献



2013年度 地域・社会貢献活動概要

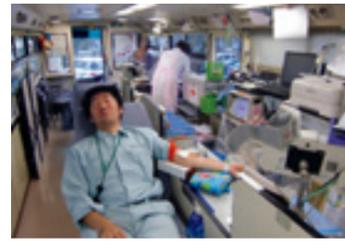
活動項目	実施時期	内容
羽沢睦会の秋季大祭(寄付)	9月	地域活動の支援
嵐山町民体育祭	10月	賞品の協賛
日赤献血活動	10月	輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うための活動
日本赤十字(募金)	11月	人間の命と健康、尊厳を守るための活動に協力
赤い羽根共同募金	11月	地域福祉の推進を支援
日本ユニセフ協会(募金)	11月	子どもたちの権利が守られる世界を実現するための活動に協力
嵐山まつり	11月	模擬店の出店や祭りの運営に協力
工場見学	11月	小学生の社会科見学受入れ
義捐金・救援金寄付	通年	海外を含めた激甚被災地への復旧支援
社有車防犯ステッカー貼付	通年	地域の防犯活動として社有車に防犯ステッカーを貼付
子ども110番の家登録	通年	緊急時の避難場所として、当社を登録
嵐山町町内小中学校PTA資源回収協力	通年	教材費用などへの活用を目的として廃段ボールを提供
エコキャッププロジェクト	通年	ペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力
使用済み切手収集	通年	使用済み切手を集め、施設や団体に寄付

社会貢献活動

● 献血サポーター

近年の少子高齢化に伴う献血者の減少、輸血者の増加などにより、血液不足が深刻化しています。血液は人工的に作ることができないため、継続的な献血を実施し、必要な血液を確保しておく必要があります。

太陽インキは、厚生労働省の献血推進対策に賛同し、献血サポーターとして社員へ献血活動への理解と協力を呼びかけています。また、太陽HDグループの国内拠点に勤務する社員も毎年1回の巡回献血に協力しています。



献血風景



● 大規模災害被災地への支援

大規模災害などにより深刻な被害が発生した際に、少しでも現地復興の手助けになればという思いから、義捐金ならびに救援金の寄付を行っています。

また2013年度は、東北復興支援の一環として社員旅行で宮城県を訪れました。東日本大震災から3年、被災した



社員旅行の様子

方々への応援と、悲惨な災害の記憶を風化させないためにも今後も同じ社会に生きる一員として、できる限りの支援を行っていきます。

VOICE

社員旅行で大震災を考える

今回南三陸を訪れ、自然の怖さを改めて再認識しました。語り部の方に映像などで当時の状況などを説明していただき、改めてこの大震災は忘れてはならないと強く感じました。一緒に連れて行った技術開発本部 中島

た幼ない娘は、大きくなって今回の旅行のことを覚えていないと思いますが、将来、この場所に行ったことを話し、娘がこの大震災を考えるきっかけになればと思いました。



技術開発本部 中島

地域貢献活動

● 工場見学の実施

太陽インキでは、地元小学生の社会科見学を受入れています。2013年度は、2校から約150名の子どもたちが工場を訪れ、見学者コースから生産工程を見学するとともに、嵐山町から世界に向けて出荷されているソルダーレジストについて簡単な講義を受けました。



工場見学の様子

分解されたパソコン、携帯端末等を手に取り、普段見慣れない機械の中身に触れることで、子どもたちにとって貴重な体験となってくればうれしく思います。

● 地域活性化への貢献

嵐山事業所および太陽インキが位置する埼玉県嵐山町は、木曾義仲や畠山重忠など、日本史に名を残した坂東武者ゆかりの地です。その歴史と伝統を継承する文化まつり「嵐山まつり」に、毎年模擬店を出店しています。

昨年に引き続き、2013年度も子ども向け玩具・遊具の販売と当社PRスペースの設置を行い、地域の皆様との交流を図ることができました。



「嵐山まつり」の当社スタッフ

なお、当日の売上金は全額社会福祉協議会へ寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきました。

VOICE

「嵐山まつり」での体験

「嵐山まつり」では、子ども向け玩具・遊具の販売や、当社製品の展示により、地域住民の皆さんと交流し、さらに、製品を紹介することができました。所属する部署では製品開発を担当し、夢ある製品を生み出すことで社会に貢献しています。今回「嵐山まつり」に参加し、地域の皆さんに喜んでいただくという別の形で社会に貢献できたことを非常にうれしく思っています。



技術開発本部 岡田

環境保全活動

● 地域清掃活動

太陽インキでは「彩の国ロードサポート」に登録し、国道254号線を中心とした清掃活動を行っています。清掃活動を通して地域の美化に貢献することは、社員の環境に対する意識向上にもつながっています。



地域清掃活動の様子

嵐山町の自然とそこに暮らす生物を守るためにも、今後も地域の清掃活動を継続していきます。

● 国蝶「オオムラサキ」の保護

埼玉県嵐山町は、国蝶「オオムラサキ」が生息する自然豊かな町でもあります。太陽インキの敷地内には、成虫が卵を産み付ける「エノキ」や、成虫の餌となる樹液を出す「コナラ」や「クヌギ」といった樹木が生えており、オオムラサキの越冬地となっています。

太陽インキでは、2013年度も敷地内にオオムラサキが越冬しやすい環境を整えるなど、保護活動を行いました。



オオムラサキ

また、里山づくりのボランティア活動にも、社員が積極的に参加しました。

● オオムラサキの越冬幼虫数の推移

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
越冬幼虫数	39	53	15	7

※太陽インキ敷地内で観察できた頭数

環境方針と環境マネジメントシステム

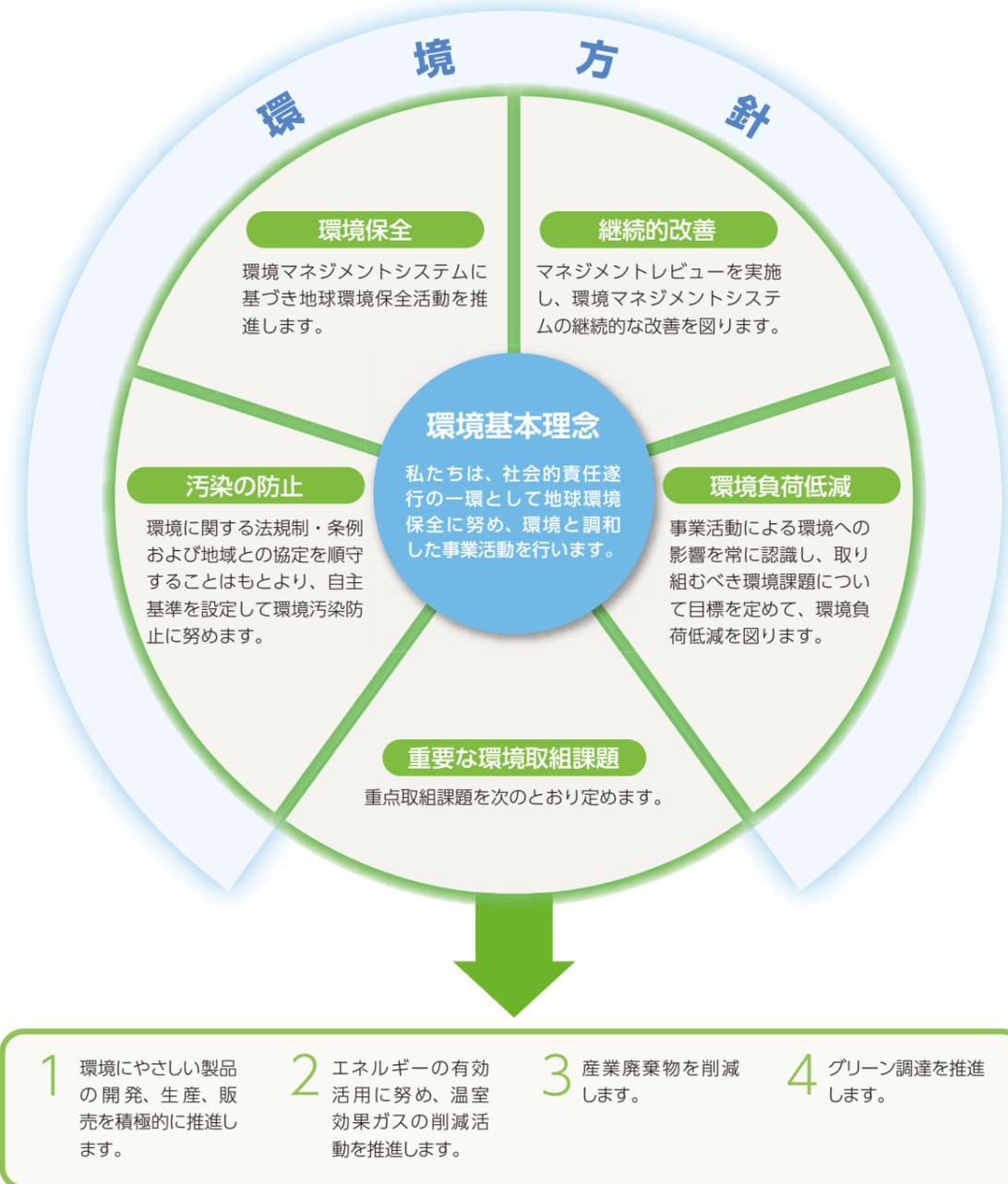
環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともに、太陽HDグループのすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

太陽HDグループは、CSR行動規範に「環境の保全」として環境基本理念を定め、「私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。」と明言しています。環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を

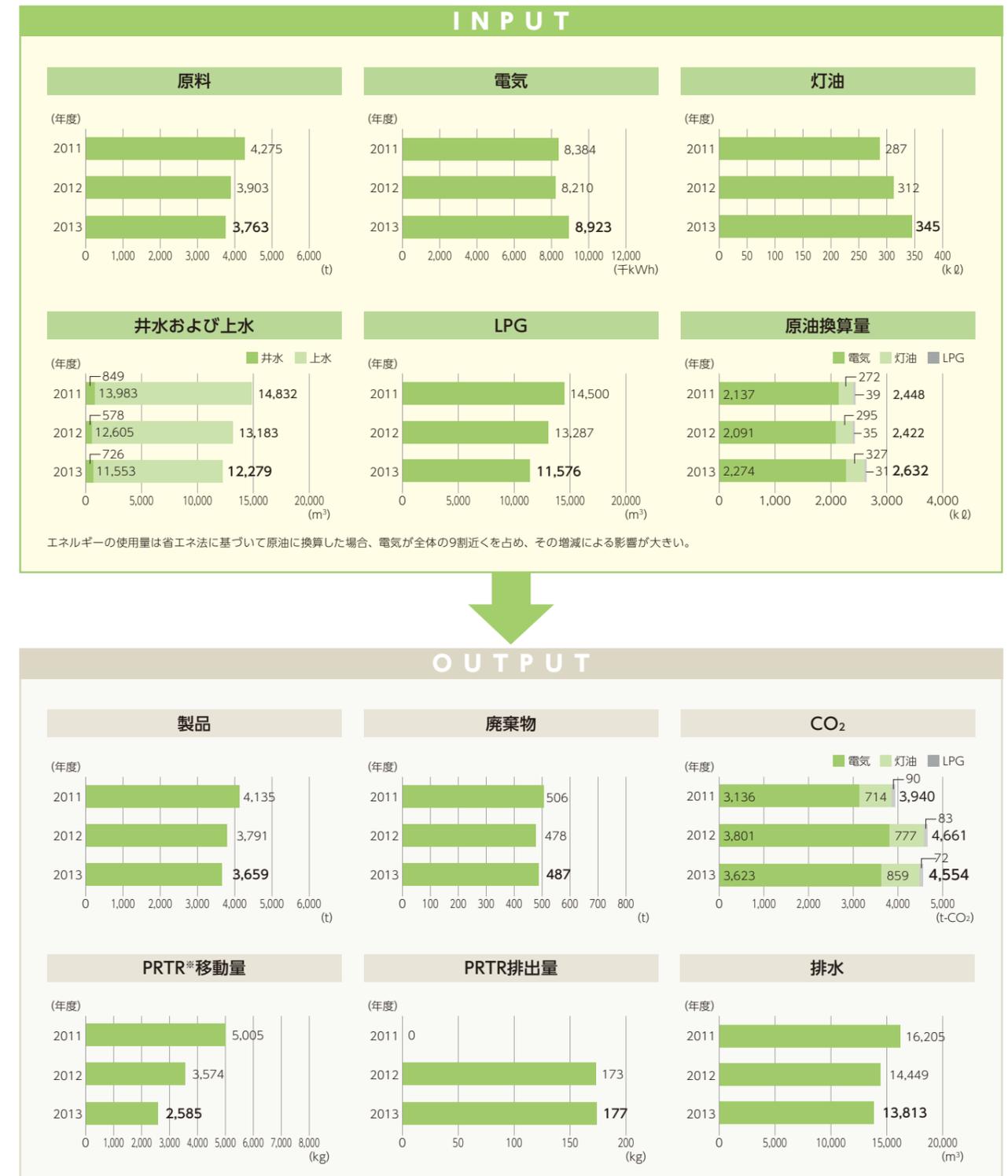
守ることが経営上の重要な課題のひとつであると認識しており、環境経営の実現に向けて、この認識を役員および全社員と共有し、活動しています。

以下は、日本の生産拠点である太陽インキの環境基本理念と環境方針です。



事業活動と環境との関わり

事業活動において、どれだけ資源やエネルギーを使用(INPUT)しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生(OUTPUT)させているかデータを把握し、分析しています。



用語解説 ※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

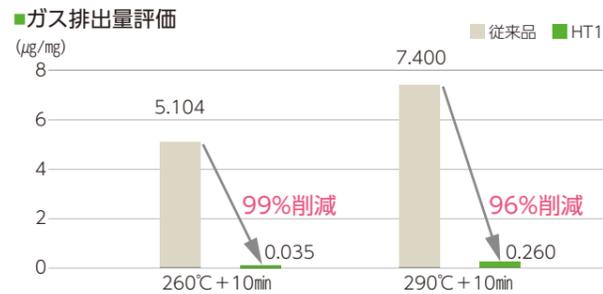
環境負荷低減の取り組み

化学物質によって実現できる豊かさを得た一方、地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

環境にやさしい製品

太陽HDグループの主力製品である現像型ソルダーレジストは、基板の小型化や、回路の高密度化に貢献する製品として、多くのお客様にご利用いただいています。

しかし、現像型ソルダーレジストの重要な成分の一つである光重合開始剤は、プリント配線板製造工程における高温環境下で、成分の一部がガスとなって揮発するため、お客様の設備汚染や基板の外観に不具合が生じることなどが問題となっています。そこで当社は、原因となるガスの発生が少ない高耐熱ソルダーレジスト (HT1) を開発しました。この製品は従来品と比較し、高温時に発生するガスを95%以上抑えることに成功しています。これにより、新たな環境に対応した製品の提供が可能となりました。



化学物質に関する取り組み

太陽HDの製品は、各種の化学物質を混合しており、性能の付与・向上を目的に、化学品メーカー各社協力のもと、新たな材料としての化学物質の開発も行っています。環境*への負荷を低減するため、化学物質管理制度を実施している国では、登録のない新たな化学物質(新規化学物質)を輸入することは原則できません。新たな化学物質を使用・輸入するためには有害性に関する様々な試験が必要となることから、当社は輸出先各国の化学物質管理関連法規制に適合した製品の提供を目指し必要な有害性試験を行って、開発した化学物質の登録申告を実施しています。試験の結果によっては、使用しない決断をすることもあり、既存の物質においても、新たに有害性が認められた場合、当該物質を含有している製品においては、代替品や低減化の検討を継続して行っています。お客様に安心して使用していただけるよう、今後もより安全な化学物質を用いた製品の開発を行っていきます。

*職場環境(取り扱う場所における従業員の健康への影響)と自然環境を総称しています

高性能ボイラーの導入

工場全域の空調制御と、生産設備の加温等に蒸気ボイラーを使用しており、夜間と休日は生産設備が停止しているため、負荷が大幅に落ちます。既設の蒸気ボイラーは一般的に三位置制御と呼ばれる、高燃焼・中燃焼・燃焼停止のサイクルで動いていました。このため、生産が停止することで負荷が軽くなる夜間と休日は、燃焼と停止の繰り返しとなり、停止するたびに、ボイラー内部を換気するので(可燃性ガスによる、爆発の防止)非常に効率が悪くなっていました。

新しく入れ替えた蒸気ボイラーは高燃焼・中燃焼・低燃焼・燃焼停止と四位置制御を行い、夜間や休日、また生産工程の負荷が軽くなった場合には、中燃焼と低燃焼で稼働し、負荷の変動に追従し効率良く燃焼するタイプに変更しました。また、蒸気使用圧力も見直しを行い、0.6MPaから0.5MPaに下げ燃料消費を抑えました。その結果、灯油使用量を年間で約16,000ℓ削減することができました。



省エネに貢献する新しいボイラー

電気自動車の活用

●電気自動車の増車

太陽HDグループは、2011年度にCO₂排出量削減の一環として電気自動車を社有車に導入しています。2013年度には新たに太陽HDに1台、太陽インキに1台増車し、より効果的なCO₂排出量の削減を目指しました。増車したことで多くの社員が使用することができるようになり、さらに環境への貢献が期待できます。



社有車の電気自動車

●充電設備の設置

電気自動車の使用増加に合わせて、充電設備を国内の各拠点に設置しています。充電設備を備え、使用しやすい体制を整えることで、拠点間の移動などにも気軽に電気自動車を使用できるようになりました。当社グループでは今後も電気自動車の使用を推進し、CO₂排出量の削減に努め環境保全に取り組んでいきます。

VOICE

環境にやさしいと実感



初めて電気自動車に乗りましたが、加速が非常に良く音も静かで環境にもやさしい車だと思っています。マイカーとして保有したくなりました。ただ走行距離がもう少し伸びると良く、さらにファミリー向けのミニバン等の車種があると選択肢が広がりますので今後に期待します。

電気自動車は、既存の自動車メーカー以外のメーカーも参入し、今後台数やシェアも増えると思いますので、会社として世の中をリードするような車両を導入することは非常に良いことだと感じました。

経理財務部
渡邊



LEDライトの導入

太陽インキは建設当初から「環境にやさしい工場」を目指し、当時最も省エネであったHF式蛍光灯を全館の照明に採用しています。建設後10年が経過し、設備更新の時期となったことから、LED照明への交換に着手し、2013年度は正面玄関エントランスホールの照明設備の交換を実施しました。従来の照明に対し約75%の電力削減が図れ、明るい玄関に生まれ変わりました。次年度以降も事務室等効果の大きいところを中心に順次交換工事を進める計画です。



エントランスホールのLED照明

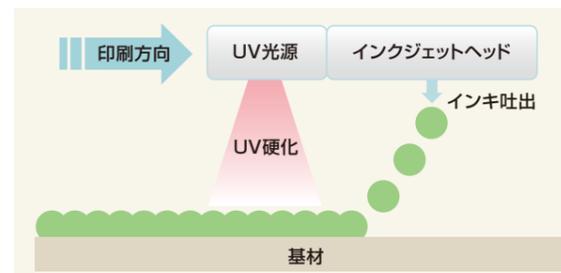
TOPICS インクジェットソルダーレジスト IJSR-4000 Series

現在主流であるアルカリ現像型のソルダーレジストは基板全面に塗布した後、露光・現像という工程により不要な箇所を除去し回路パターンを形成しています。

太陽HDの新製品であるインクジェットソルダーレジストは、インクジェット印刷法により、必要な箇所のみ塗布し、回路パターンを形成することができます。そのため、従来のアルカリ現像型ソルダーレジストと比較し、露光・現像が不要となるため、工程の大幅な簡略化が可能になりました。

インクジェットソルダーレジストは、お客様の工程で発生

する環境負荷の大幅な低減が実現できる、地球環境にやさしいインキです。



■アルカリ現像型ソルダーレジスト



■インクジェットソルダーレジスト

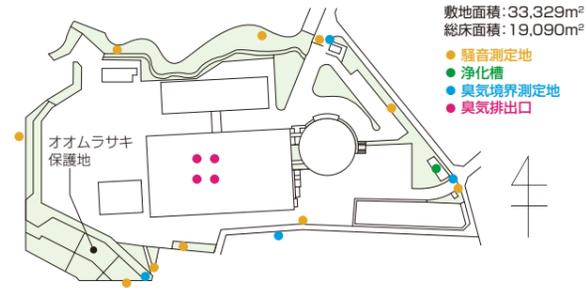


・省インキ
・省エネ
・非水系プロセス
環境対応性能に優れる

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ製造 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)*1)

項目	測定箇所	規制値	2011年度	2012年度	2013年度	
			2011年度	2012年度	2013年度	
臭気指数	敷地境界線	15以下	10未満	10未満	10未満	
	排出口	E-1011	35以下	24	30	27
		F-1001	39以下	22	29	24
		練肉脱臭設備	32以下	20	19	20
		E-1021	42以下	35	36	27

● 騒音(騒音規制法)*2/埼玉県条例)

項目	測定箇所	規制値	2011年度	2012年度	2013年度
			2011年度	2012年度	2013年度
朝	東側	50以下	43	46	44
	南側		40	42	42
	西側		41	43	44
	北側		39	42	44
昼間	東側	55以下	46	44	44
	南側		49	48	48
	西側		45	43	44
	北側		42	42	44
夕	東側	50以下	47	44	43
	南側		44	41	41
	西側		45	41	41
	北側		48	41	41
夜間	東側	45以下	42	43	42
	南側		42	40	40
	西側		41	38	37
	北側		41	40	40

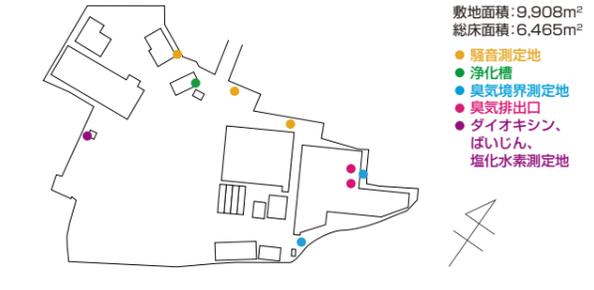
● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2011年度	2012年度	2013年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	9.7	8.7	9.1
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	3.5	3.5	3.6
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	5.9	5.6	7.1
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.7	7.7	7.3
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	148.5	30未満	30未満
	銅	mg/L	3以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	17.7	16.1	21.2
	全リン	mg/L	16以下	2.1	1.9	2.0
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.8未満	0.8未満	0.8未満

*2012年度より測定業者変更により、測定限界値が一部変更となったので、過去の実績の一部を合わせています

- ※1 埼玉県条例：埼玉県生活環境保全条例
- ※2 騒音規制法：騒音規制に関する法律
- ※3 ダイオキシジン法：ダイオキシジン類対策特別措置法

太陽ホールディングス嵐山事業所 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地



● 小型焼却炉(ダイオキシジン法)*3/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2011年度	2012年度	2013年度
ばいじん	g/m³N	0.15以下	0.00765	0.01135	0.0058
排ガス中のダイオキシジン	ng-TEQ/m³N	5以下	0.77	0.19	0.39
焼却灰中のダイオキシジン	ng-TEQ/g	3以下	0.025	0.086	0.015
塩化水素	mg/m³N	500以下	50.5	120.95	28.5

● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

項目	測定箇所	規制値	2011年度	2012年度	2013年度
			2011年度	2012年度	2013年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	19	22	21
	技術棟排出口	40以下	24	21	22
	敷地境界線No.1	18以下	10未満	13	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	10未満	10未満	10未満

● 騒音(騒音規制法/埼玉県条例)

項目	測定箇所	規制値	2011年度	2012年度	2013年度
			2011年度	2012年度	2013年度
朝	東側	50以下	46	46	43
	北側		44	43	42
	西側		43	45	44
昼間	東側	55以下	46	46	45
	北側		44	45	44
	西側		46	47	46
夕	東側	50以下	48	45	45
	北側		46	44	42
	西側		46	45	45
夜間	東側	45以下	45	44	43
	北側		45	41	41
	西側		44	44	43

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2011年度	2012年度	2013年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	11.0	2.7	37
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	10.3	11.5	7.7
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	12.0	6.0	6.3
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.0	7.0	7.0
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	248.7	298.0	189.2
	銅	mg/L	3以下	0.03	0.03未満	0.03未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.07
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.1未満	0.2	0.1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	19	4.1	30
	全リン	mg/L	16以下	2.1	0.2	5.1
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満

*「小型焼却炉」「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の実績の平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下をあらわす

